

デスクオルガンE型

DE-49S

取扱説明書

YAMAHA

このたびはヤマハデスクオルガンE型DE-49Sをお買い上げいただきまして誠に有難うございます。ご使用にあたりましては、この取扱説明書をご一読のうえ、末永くご愛用下さいますよう、お願ひ申し上げます。
お読みになった後は大切に保管して下さい。わからない事や不具合が生じた時、きっとお役に立ちます。

■ 主な特長

1. 美しくクリアな音色：音作りにヤマハ独自のAWM音源方式を採用。美しくクリアな音色を実現しました。
2. 音色数：音色は鍵盤楽器、管楽器、弦楽器から6種類。さまざまなアンサンブル活動に大きな効果を発揮します。
3. 音域変換機能：49鍵ですが音域切換スイッチにより61鍵分の音域をカバーできます。
4. MIDI対応：デスクオルガンE型としては初めてのMIDI端子を装備。これからの時代に対応し、可能性が拡がります。

安全上のご注意

ご使用の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みください。

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくご使用いただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」と「注意」に区分しています。いずれもお客様の安全や機器の保全に関する重要な内容ですので、必ずお守りください。

記号表示について

この機器に表示されている記号や取扱説明書に表示されている記号には、次のような意味があります。



△ 記号は、危険、警告または注意を示します。上記の場合、△は機器の内部に絶縁されていない「危険な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告しています。また、△は注意が必要なことを示しています。

○ 記号は、禁止行為を示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

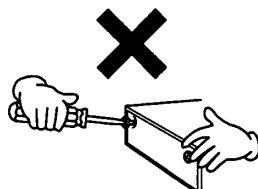
● 記号は、行為を強制したり指示したりすることを示します。記号の中に具体的な内容が描かれているものもあります。

*お読みになった後は、使用される方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

！警告

この表示内容を無視した取り扱いをすると、死亡や重傷を負う可能性が想定されます。

この機器の内部を開けたり、内部の部品を分解したり改造したりしない。
感電や火災、または故障などの原因になります。異常を感じた場合など、機器の点検修理は必ずお買い上げの楽器店または取扱説明書巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点にご依頼ください。



浴室や雨天時の屋外など湿気の多いところで使用しない。また、本体の上に花瓶や薬品など液体の入ったものを置かない。
感電や火災、または故障の原因になります。

電源は必ず交流100Vを使用する。
エアコンの電源など交流200Vのものがあります。誤って接続すると、感電や火災のおそれがあります。

使用中に音が出なくなったり異常ににおいや煙が出た場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜く。

感電や火災、または故障のおそれがあります。至急、お買い上げの楽器店または取扱説明書巻末のヤマハ電気音響製品サービス拠点に点検をご依頼ください。

(アース付き電源プラグの場合)アース線を確実に取り付ける。
感電のおそれがあります。(アース線の取り付け方については付属の取扱説明書をご参照ください。)



濡れた手で電源プラグを抜き差ししない。
感電のおそれがあります。

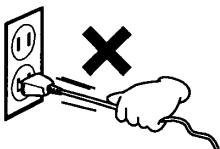
電源プラグにほこりが付着している場合は、ほこりをきれいに拭き取る。
感電やショートのおそれがあります。

⚠ 注意

この表示内容を無視した取り扱いをすると、傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定されます。

電源コードをストーブなどの熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、傷つけたりしない。また、電源コードに重いものをのせない。電源コードが破損し、感電や火災の原因になります。

電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持つて引き抜く。
電源コードが破損して、感電や火災が発生するおそれがあります。

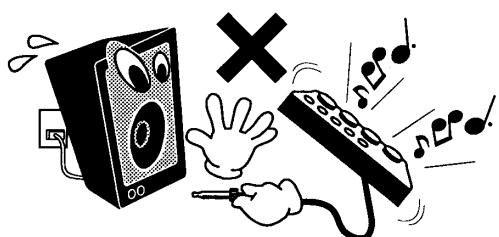


手入れまたは移動をするときは、必ず電源プラグをコンセントから抜く。
プラグが変形するおそれがあります。

タコ足配線をしない。
コンセント部が異常発熱して発火したりすることがあります。

電源コードやプラグがいたんだときは使用しない。また、長期間使用しないときや落雷のおそれがあるときは、必ずコンセントから電源プラグを抜く。
感電、ショート、発火などの原因になります。

他の機器と接続する場合は、すべての機器の電源を切った上で行う。また、電源を入れたり切ったりする前に、必ず機器のボリュームを最小(0)にする。
感電または機器の損傷のおそれがあります。



直射日光のある場所(日中の車内など)やストーブの近くなど極端に温度が高くなるところ、逆に温度が極端に低いところ、またほこりや振動の多いところで使用しない。
本体のパネルが変形したり内部の部品が故障したりする原因になります。

テレビやラジオ、スピーカーなど他の電気製品の近くで使用しない。
デジタル回路を多用しているため、テレビやラジオなどに雑音が生じる場合があります。



不安定な場所に置かない。
機器が転倒して故障したり、お客様がけがをしたりする原因になります。

本体を移動するときは、転倒や衝撃を与えないよう静かに運搬する。
衝撃は故障の原因となります。

オルガン付属の専用椅子、または別にお求めのオルガン椅子は、オルガンの演奏用以外に使用しない。

- オルガンの椅子を遊び用具や踏み台にすると、椅子が転倒したり壊れたりして、事故につながる恐れがあります。
- 同時に二人以上で使用すると、姿勢や椅子に無理が生じ、事故につながる恐れがあります。オルガンの椅子は二人以上で使用しないでください。
- 椅子の脚はボルトで締め付けてあります。長い間使用していると、ゆるんでくることがありますので、ときどき締め直してお使いください。

本体を移動するときは、必ず電源コードなどの接続ケーブルをすべて外した上で行う。
コードをいためたり、お客様が転倒したりするおそれがあります。

本体を手入れするときは、ベンジンやシンナー、洗剤、化学ぞうきんなどは絶対に使用しない。また、本体上にビニール製品やプラスチック製品などを置かない。
本体のパネルや鍵盤が変色/変質する原因になります。お手入れば、柔らかい布で乾拭きしてください。

本体の上に乗ったり重いものをのせたりしない。また、ボタンやスイッチ、出入力端子などに無理な力を加えない。
本体が破損する原因になります。

(放熱ファンや放熱用スリット付きの製品の場合)本体の放熱ファンや放熱用スリットに本などを置いて、ふさがない。(エレクトーンやクラビノーバの場合)本体を壁につけない。
換気が十分でないと、本体内部に熱がこもり、火災が発生するおそれがあります。

ヘッドフォンを振り回さない。
人に当たってけがをする恐れがあります。

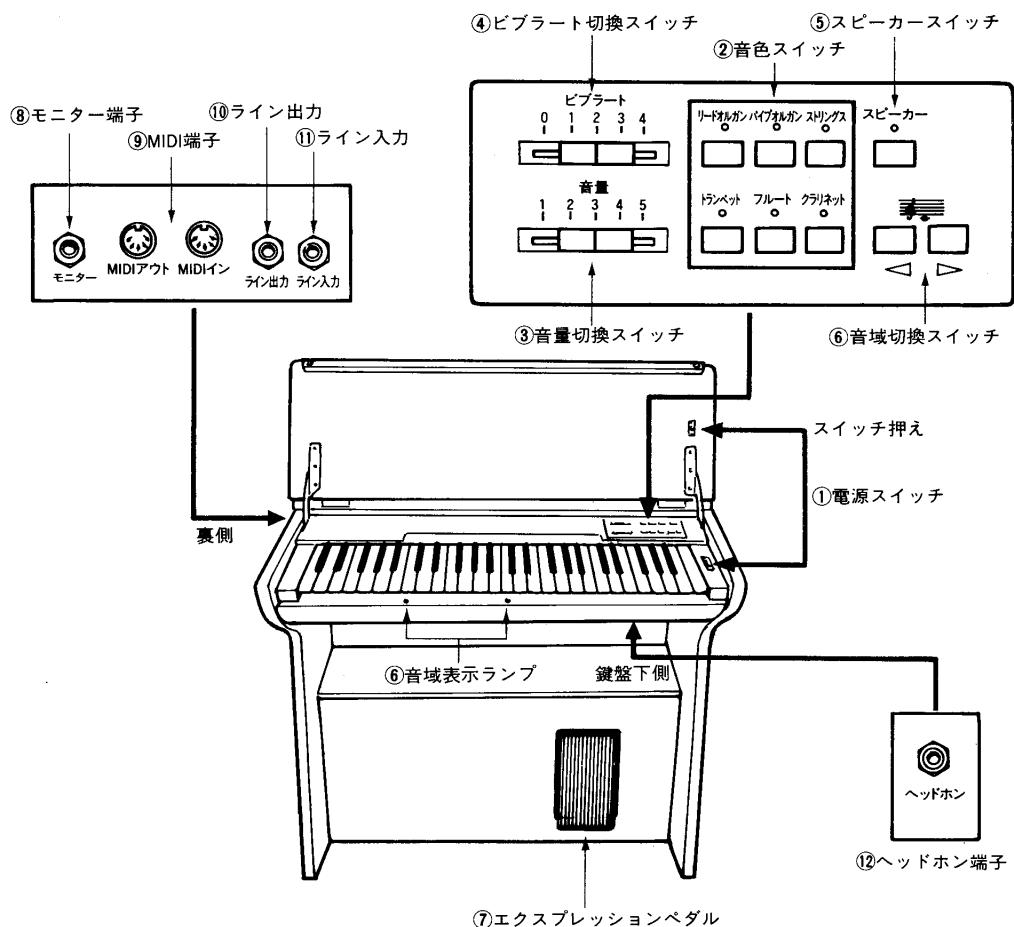
大きな音量で長時間ヘッドフォンを使用しない。
聴覚障害の原因になります。



不適切な使用や改造により故障した場合の保証はいたしかねます。また、データが破損したり失われたりした場合の保証はいたしかねますので、ご了承ください。

長時間使用しないときは、必ず電源を切りましょう。

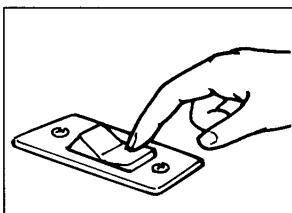
各部の名称



操作と機能

①電源スイッチ／スイッチ押え

電源スイッチを入れると、音色スイッチの「リードオルガン」「スピーカー」「音域表示」のランプが点灯します。電源を入れて1秒程すると演奏可能な状態になります。スイッチ押さえは、電源スイッチを切り忘れても、蓋を閉めた時に自動的にスイッチを切る仕組みになっています。キーボードアンプ等を接続して使う場合、電源を入れる時はDE-49Sから先に、切る時は、キーボードアンプから先におこなってください。また、電源スイッチON/OFFのときにはヘッドホンは、耳からはずしてください。



③音量切換スイッチ

音量を5段階に切換るスイッチです。エクスプレッションペダルを一杯に踏み込んだ時の最大音量を、この切換スイッチで決めます。目盛りは1は小さく、5は大きくなります。

④ピブラート切換スイッチ

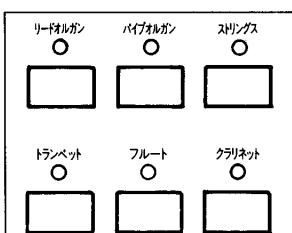
音の高さを小刻みに上下させ、音に潤いを与える効果です。切換スイッチは0~4段階で0にすると効果はかかりず、1は小さく4にすると効果は大きくなります。パイプオルガンとストリングスには、この効果はかかりません。

⑤スピーカースイッチ

スピーカースイッチON(ランプが点灯)にすると本体スピーカーから音が流れ、スピーカースイッチOFF(ランプが消える)にすると本体スピーカーの音は切れ、ヘッドホンを使って静かに学習出来ます。

②音色スイッチ

音色を選ぶスイッチです。スイッチを押すとスイッチの上にあるランプが点灯します。DE-49Sは、鍵盤楽器、管楽器、弦楽器など6種類の音色を持っています。

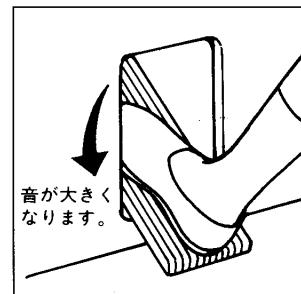


⑥音域切換スイッチ／表示ランプ

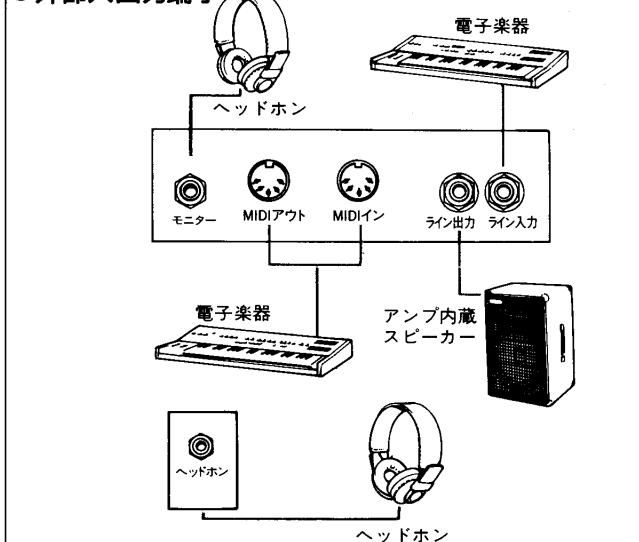
スイッチを押した方向に中央ド(C3)の位置が移動し、鍵盤手前の表示ランプに示されます。これにより61鍵分の音域をすべてカバーします。

⑦エクスプレッションペダル

音量をコントロールするペダルです。踏み込む深さによって音量をコントロールできますので、演奏中に音に強弱をつけることができます。また、ペダルは踏み込んだ位置で止まります。



●外部入出力端子



※ ライン出力、ライン入力は標準ジャックです。規格の違うプラグを接続する場合(電子楽器、アンプ内蔵スピーカーなど)には、プラグアダプター(市販品)を使用して下さい。

⑧モニターヘッドホン(標準ジャック)

ヘッドホン学習の時、先生が児童の学習状況を聞きたい時、この端子にヘッドホンを差込めばモニターする事が出来ます。

⑨MIDIアウト／イン

MIDI(Musical Instrument Digital Interface) は、デジタル電子楽器の世界統一規格です。MIDIケーブルを使って、MIDI対応のシンセサイザーやシーケンサーなどと接続すれば、多様な活用ができます。

⑩ライン出力(標準ジャック)

カセットデッキに接続して演奏を録音したり、アンプ内蔵スピーカーやステレオのアンプに接続して、より迫力のあるサウンドを楽しむ事も出来ます。

⑪ライン入力(標準ジャック)

他の電子楽器の音をオルガン本体のスピーカーから出したい時に使います。

⑫ヘッドホン端子

ヘッドホンを接続する端子です。棚板下についています。ヘッドホンは電子楽器専用品を使用して下さい。(YHE-90M)

●ピッチコントロールについて

他の楽器と合奏する時など、音程を微調整したい時には次のようにします。

(1)電源をOFFの状態にします。

(2)パネルの6種類の音色スイッチが下記のピッチに対応しています。

トランペット	(A = 439)
フルート	(A = 440)
クラリネット	(A = 441)
リードオルガン	(A = 442)
パイプオルガン	(A = 443)
ストリングス	(A = 444)

合わせたいピッチに対応するスイッチを押しながら電源スイッチをONにして下さい。

例：トランペットの音色スイッチを押しながら、電源スイッチONにするとピッチは439Hzになります。

(3)普通に電源スイッチをONにした場合のピッチは440Hzです。

MIDIについて

MIDIとは…？

デスクオルガンE型DE-49Sには、先進のエレクトロニクス楽器ならではの楽しみ方のできるMIDI端子がついています。このMIDI(ミディ)とは、Musical Instrument Digital Interface(ミュージカル・インストゥルメント・デジタル・インターフェイス)を略したもので、電子楽器どうしをMIDIケーブルで接続し、音程や音の長さといった演奏の情報などをお互いに交換するためのものです。また、MIDIは世界の電子楽器の統一規格ですから、どこのメーカーの製品でも、MIDI端子がついていれば演奏情報の交換をすることができます。

接続方法について

DE-49SのMIDI端子には、アウト端子(送信側)とイン端子(受信側)があります。

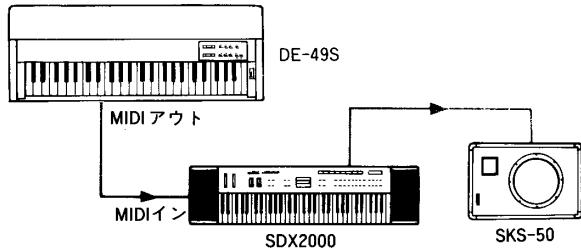
接続は、専用のMIDIケーブルを使いますが、オーディオのDINケーブルと酷似していますので注意して下さい。なお、オーディオのDINケーブルをMIDI端子には絶対接続しないで下さい。故障の原因になります。

DE-49Sから演奏の情報を送る場合はアウト端子に、情報を受けてDE-49Sの音源を使って音をだす場合はイン端子に接続してください。(MIDIを使って情報交換できるのは、あらかじめMIDI端子をそなえた機器に限られます。)

楽しみ方の例

- DE-49Sを演奏して他のキーボードとアンサンブル

例：デジタルシンセサイザーSDX2000との接続

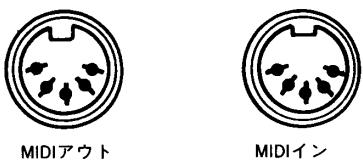


※SDX2000はモニタースピーカーを内蔵していますが、キーボードアンプを使用することで、より迫力あるサウンドが得られます。

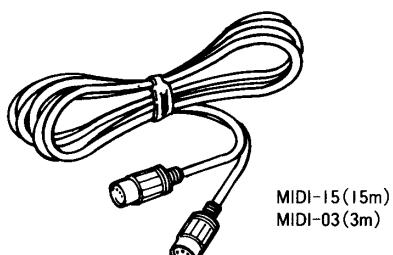
図のようにDE-49SのMIDI アウトとSDX2000のMIDI インを接続すれば、DE-49Sを演奏するとSDX2000からも音を出すことができます。

つまり、DE-49Sの鍵盤を押された情報が瞬時にSDX 2000に伝わり、音程や音の長さなどの同じ音がSDX 2000からもでて、厚みのある演奏ができるのです。この時、音色は別々に指定できますので、DE-49Sのフルートの音色にSDX2000のストリングス系の音色を組み合わせて楽しむなど、工夫次第でいろいろなアンサンブルをつくりだすことができます。

MIDIアウト／イン端子



接続に使うMIDIケーブル



DE-49S MIDI インプリメンテーションチャート

[デスクオルガンE型]

Model DE-49S

MIDI インプリメンテーションチャート

Date :1992.7.30

Version :1.00

ファンクション		送 信	受 信	備 考
ベースィック チャンネル	電源ON時 設定可能	1チャンネル ×	1チャンネル ×	
モード	電源ON時 メッセージ	×	×	
ノートナンバー 音域		36-96 *****	21-108 36-96	
ベロシティ	ノート・オン ノート・オフ	○ 9nH, V=96 ○ 9nH, V=0	○ V=1-127 ○ 9nH, V=0, 8nH	
アフター タッチ	キー別 チャンネル別	×	×	
ピッチベンダー		×	×	
コントロール チェンジ	01 07 11	○ ○ ○	○ ○ ○	ミュレーション ボリューム エクスプレッション
プログラム チェンジ	設定可能範囲	○ 00H-05H *****	○	*1
エクスクルーシブ		×	×	
コモン	ソング・ポジション ソング・セレクト チューン	×	×	
リアルタイム	クロック コマンド	×	×	
その他	ローカルON/OFF オール・ノート・オフ アクティブセンシング リセット	×	×	
備考		*1:00H:トランペット 01H:フルート 02H:クラリネット	03H:リードオルガン 04H:パイプオルガン 05H:ストリングス	

モード1:オムニ・オン、ボリ
モード3:オムニ・オフ、ボリ

モード2:オムニ・オン、モノ
モード4:オムニ・オフ、モノ

○:あり
×:なし

故障とお考えになる前に

故障ではないかとお思いになつたら、下記の事項をご確認下さい。それでも正常に動作しない、あるいは下記以外で何か異常が認められた場合は電源スイッチを切り、電源プ

ラグをコンセントから外して、お買い上げ店または最寄りのYAMAHA電気音響アフターサービス拠点宛、お問い合わせ、サービスをご依頼下さい。

どんな状態ですか	ここが原因	こうすればOKです
音がまったく出ない。	エクスプレッションペダルが踏み込まれていない。	適切な音量にセットして下さい。
時々、ガリッとかポツンという雑音に入る。	ごく近くで電気器具の電源をON/OFFしたり、電気ドリルなどを使っている。	原因と思われる電気器具からなるべく離れたコンセントを使って下さい。
ラジオやテレビなどに雑音が入る。	本機のごく近くでラジオやテレビなどを使っている。	なるべく離れたコンセントをお使い下さい。
音が割れる。 (共鳴する、あるいはビリつく)	オルガンの音は持続音が多いため周囲の戸棚、窓ガラス、その他の器物に共鳴して音が割れて聞こえることがあります。	音量を小さくするか共鳴物を取り除いて下さい。

保証とサービスについて

1. 保証

オルガンの保証は、保証書によりご購入日から満1ヶ年です。尚、現金、クレジットなどによる保証の区別はいたしません。また、保証は日本国内のみ有効といたします。

2. 保証書

オルガンの納入調整サービスの際、技術者が保証書内へ必要事項記入のうえ、発行致しますので記載事項をご確認下さい。

3. 保証書は大切にしましょう！

保証書は弊社がオルガンをご購入いただいたお客様にご購入の日から向う1ヶ年の無償サービスをお約束申し上げるもので、万一紛失なさいますと保証期間中であっても実費をいただくことがありますので必要に応じて、いつでもご提示いただけますよう保管してください。

また、後々のサービスに際しての機種の判別やサービス依頼店の確認にご利用いただけますし、調整記録を記入する欄もございますので、保証期間が過ぎましても大切に保管下さい。

4. 納入点検調整サービス

オルガンをお納めさせていただきますと、楽器店の技術者が楽器のご説明かたがたオルガンを最良の状態にするよう点検調整にお伺い致します。

お求めのオルガンについて、ご不明の点およびお聞きになりたい事がありましたらその節にお申しつけ下さい。

5. 保証期間中のサービス

1. 保証期間中に万一故障が発生した場合にはお買い求めい

ただいた楽器店にご連絡いただきますと楽器店またはヤマハの技術者が調整修理にお伺いします。

2. 保証書は、サービスにお伺いした時に今後貴重な資料とするため一時技術者がお預りさせていただきます。お預りした保証書は、弊社サービスセンターに送られ、必要事項を記録した後直接お客様にご返送申しあげます。この間、約1週間～10日間程度を要しますが、ご心配なくお待ちください。よろしくお願い申しあげます。

6. 保証期間後のサービス

満1ヶ年の保証期間が切れますとサービスは有料となります。引続き責任をもってサービスをさせていただきます。補修用性能部品（製品本来の機能を維持する為に必要な部品）の最低保有期間は8年となって居ります。

7. サービスをご依頼になる前に

- コンセントに電気が来ているかどうか、他の電気製品を接続してお確かめください。
- ご依頼いただいたサービスにお伺いした際、故障でないような場合には、点検代と出張経費などの実費をいただきます。

8. サービスのお約束について

- できるだけお伺いする日時を事前にお約束させて頂きます。
- 万一お約束した日時がご都合の悪い時には、できるだけ早くサービスをご依頼されたお店にご連絡ください。
- サービスご依頼後、日時が経過してもなお技術者がお伺いしない場合はお手数でも9ページサービスセンターまでご連絡下さい。責任をもって処理させていただきます。

仕 様

音 源	AWM 音源
鍵 盤	49鍵 Cスケール (4オクターブ)
音 色	6 音色 リードオルガン、パイプオルガン ストリングス、トランペット、 フルート、クラリネット
効 果	ピブラーート
コントロール	ピッチコントロール、電源スイッチ 音量レバー、エクスプレッションペダル ピブラーートレバー、音域切換スイッチ スピーカーON/OFFスイッチ
外部入出力端子	ヘッドホン×1、モニターへッドホン×1 MIDI (IN/OUT) ライン (IN/OUT)
メインアンプ	15W
スピーカー	20cm
定格電圧・周波数	AC 100V (50Hz/60Hz)
定格消費電力	28W
寸 法	間口79cm・奥行44cm・高さ75cm
重 量	30kg
仕上げ	マウンテンウォルナット仕上げ
標準装備品	椅子×1

ヤマハのサービスネット

全国のヤマハ特約楽器店と下記サービスセンターが責任を持ってアフターサービスを行っております。

●修理受付および修理品お預り窓口

北海道サービスセンター	〒064 札幌市中央区南十条西1丁目1-50 ヤマハセンター内	TEL (011) 513-5036
仙台サービスセンター	〒983 仙台市若林区卸町5-7 仙台卸商共同配送センター3F	TEL (022) 236-0249
首都圏サービスセンター	〒211 川崎市中原区木月1184	TEL (044) 434-3100
東京サービスステーション (お持込み修理のみお取扱い)	〒108 東京都港区高輪2-17-11	TEL (03) 5488-6625
浜松サービスセンター	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL (053) 465-6711
名古屋サービスセンター	〒454 名古屋市中川区玉川町2-1-2 ヤマハ(株)名古屋流通センター3F	TEL (052) 652-2230
大阪サービスセンター	〒565 吹田市新芦屋下1-16 ヤマハ(株)千里丘センター内	TEL (06) 877-5262
四国サービスステーション	〒760 高松市丸亀町8-7 ヤマハ(株)高松店内	TEL (0878) 22-3045
広島サービスセンター	〒731-01 広島市安佐南区西原6-14-14	TEL (082) 874-3787
九州サービスセンター	〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4	TEL (092) 472-2134
[本社] カスタマーサービス部	〒435 浜松市上西町911 ヤマハ(株)宮竹工場内	TEL (053) 465-1158

※住所および電話番号は変更になる場合があります。

YAMAHA

ヤマハ株式会社

国内楽器営業本部 〒430 沼松市中沢町10-1
管教育楽器営業部 TEL.053(460)2405

北海道支店 〒064 札幌市中央区南10条西1-1 ヤマハセンター
TEL.011(512)6113

仙 台 支 店 〒980 仙台市青葉区大町2-2-10 住友生命青葉通りビル
TEL.022(222)6146

東 京 支 店 〒108 東京都港区高輪2-17-11
TEL.03(5488)1672

名 古 屋 支 店 〒460 名古屋市中区鏡1-18-28
TEL.052(201)5166

大 阪 支 店 〒542 大阪市中央区南船場3-12-9 心斎橋プラザビル東館
TEL.06(252)5341

広 島 支 店 〒730 広島市中区紙屋町1-1-18
TEL.082(244)3749

九 州 支 店 〒812 福岡市博多区博多駅前2-11-4
TEL.092(472)2155